

若者会議について

2月21日 町おこしディレクターとの意見交換。

● 神岡氏のお話 嵐山町は繋がりが強いので、その広がりをも求めたい。現在は出来る限り多くの人達と会って、嵐山町の歴史と文化を知りたい。世代の違う人達も集まれる居場所を作りたい。嵐山町には温かさを感じる。

● 神岡氏友人A氏のお話 私は嵐山町育ちなので、良いところも悪いところも知っている。若い人を消防団員勧誘に行くこと、一番に親が反対する。若者の意見が通らない。若者と接してもっと意見を聞いて欲しい。

● 神岡氏友人B氏のお話 私は町外から嫁に来た。嵐山町はおばあちゃんの家に来たような居心地の良さがある。嵐山時間がある。ゆったりしている。外側から中を応援するというのがコンセプトで活動している。
A氏はそば・うどん打ちの職人であり、めんこひで繋がった。

神岡氏の探している古民家でめんこひを提供したいと計画している。

一氏はハロウィンイベントを企画し交流会で知り合った方の協力を得て2回実施した。今では多くの賛同者を得ることが出来た。

問 若者会議をどう進めたら良いと思うか。自身の参加は。
答 神岡氏 町の活性化に繋がればいつでも協力する。

A氏 可能なら参加したい。生徒・学生は同世代となら良話をする。一つの組織としても同世代の小グループでの活動を薦める。

一氏 私は呼ばれなければ参加しない。学生は参加しないと

農業の活性化について

2月7日、近隣の東松山直売所・吉見直売所・滑川直売所に
出向き、それぞれの特徴や取り組んでいる事のお話を伺った。

● 東松山直売所 組合員190名 東松島市の牡蠣販売。ポロタン栗の餡子。

● 吉見直売所 組合員198名 年中無休。イチゴやイチゴジャム、イチゴ羊羹。

● 滑川直売所 組合員182名 切花は全て地元産。加工品はアザレグループで対応。

2月21日に嵐山直売所生産組合三役及び所長との意見交換を行った。

● 嵐山直売所 組合員128名 特産品は無いが幅広く品数がある。

組合役員より 組合員の高齢化で車の運転に不安を感じるため、出荷しづらくなっている人も多くいるので、集荷をどうするか今後の課題である。農協では取り組む具体的な計画は無い。

委員からの意見と質問
問 毎日出荷出来る人は何名程度か。
答 季節ごとで30名程度。
問 嵐山町は施設野菜が無い。少量多品目で作っている。部会

制にし欠品の無いように出来ないか。
答 検討しているが難しい。午前中に70%が売れてしまう。

問 意識の違いが大きい。安売りが競争をさせない、作付け時期等をずらす等、どう考えるか。
答 意識改革が必要。趣味で作っている人、売る意識の低い人、売れ残りを嫌う人等が多くいる為、100万〜200万円を売り上げていく層の底上げをどうするかだ

と考えると。ピニールハウスの導入を進め、時期をずらして出荷するよう指導したい。



J A 嵐山農産物直売所

文教厚生常任委員会

食育・学校給食

委員会開会日
12月14日 学校給食現地調査等
12月25日 意見交換
1月19日 意見交換
1月30日 越生小学校行政視察
2月8日 意見交換

志賀小学校給食現地調査 足りない・時間がない

委員意見

● 1年生の残食は思ったより少ないが時間があればもう少し食べることができるのでは。
● 低学年は決まった時間内に食べ切ることも重要。配食時に盛り調節する工夫も必要では。
● 6年生に給食の量について聞いた。男性2人は足りないと言え、女性3人は丁度良いと答えたが周囲を気にしている様子があり、足りていないと感じた。



6年2組 完食で～す。

給食センター所長・栄養教諭の説明

篠藤所長

● 地産地消野菜は2品目増え16品目、活用率は38・2%。
● 食料費に大変苦慮。
● 奥田栄養教諭 食育授業は、学校によってばらつきが課題。
● 給食量は、文科省で示す栄養価、食品量の平均値で人数分を算出。

● 玉ノ岡中学校区のアンケート調査による残食理由は、嫌いな味、嫌いな食べ物の次に時間がないが多い。

給食時間終了の5分後に回収車が来るので、時間的に余裕がない状況。

越生小学校行政視察 小栄養教諭説明

全国学校給食甲子園大会優勝

● 特産品及び地元産食材の使用では、農家を訪ね、梅・柚子フエアに出向き、人との繋がりで地元食材を活用。
● 特産品を生かした食育では、柚子園や梅農家の仕事を学ぶ授業を行い、梅干しづくりのプ口から教わる体験授業を実施。
● 給食調理場所・調理員とのふれあい食育では、調理員と食材の皮むき体験や夏休み期間中に給食室の見学を実施。
● 甲子園出場のねらいは、給食で越生町の良いところ知ってもらい、町を元気にしたいとの思いで応募。

● 優勝後の反響は、町の多くの人に学校給食への理解が得られ、児童・先生の意識が変わり、残菜率も減少。

※越生小学校の給食方式は、自校方式（梅園小学校配送）民間委託。



小栄養教諭の説明を受ける各委員（越生小）

◆委員会統一見解
● 学校現場・教育委員会に対し、各課題への対応を提言する。
● 嵐山町としての取り組みを提言に導くため、今後の調査を栄養教諭の職務範囲とする。
以上中間報告